

『浦添分散型エネルギー株式会社』を設立  
～浦添市内のスマートシティ開発を加速します！～  
浦添市内での持続的なまちづくり(スマートシティ)における  
電気事業、熱供給事業、温泉供給事業を含むエネルギー供給事業、  
及びエネルギーマネジメント事業を推進します

浦添スマートシティ基盤整備株式会社（代表取締役：野口 広行）、スマートエネルギー投資合同会社（代表社員：一般社団法人スマートエネルギー投資ホールディングス）、沖縄ガス株式会社（代表取締役：我那覇 力蔵）は、平成 28 年 12 月 20 日『浦添分散型エネルギー株式会社（以下、同社という）』を設立しました。更に、株式会社沖縄銀行（取締役頭取：玉城 義昭）は、平成 29 年 2 月 3 日同社に対する追加出資を完了致しました。同社は、浦添市内での持続的なまちづくり（スマートシティ）における電気事業、熱供給事業、温泉供給事業を含むエネルギー供給事業、及びエネルギーマネジメント事業を担い、官民連携によるスマートシティ事業を展開して行きます。

同社は、浦添スマートシティ基盤整備株式会社、スマートエネルギー投資合同会社、沖縄ガス株式会社の共同出資（出資総額：7億4,000万円）により平成28年12月20日設立されました。更に、平成29年2月3日、中立性・公平性の観点、ファイナンス力の強化を目的として、株式会社沖縄銀行より2,500万円の追加出資を受けました。（追加出資後出資総額：7億6,500万円）今後も更なる財務基盤の強化を進める予定です。（参考図1参照。）

そして、同社は、まず、てだこ浦西駅周辺開発地区（以下、本地区という）における分散型エネルギー事業に特化した電気事業、熱供給事業、温泉供給事業を含むエネルギー供給事業、及びエネルギーマネジメント事業を平成31年春以降の同地区まちびらきと同時に開始する予定です。同社の本社エネルギーセンターは同地区内に建設予定です。（参考図2参照。）

同社は、沖縄都市モノレールてだこ浦西駅の平成31年春開業以降に順次オープンする本地区参入事業者の各施設に、電力・冷熱・温熱・温泉を供給し、パリ協定に基づく日本のCO2削減目標（2030年までに2013年比26%削減）に対して浦添市のまちづくりとして貢献し、全国的に電力・ガスの自由化が進む中、同地区内の需要家のエネルギーコストの低減化も図る見込みです。

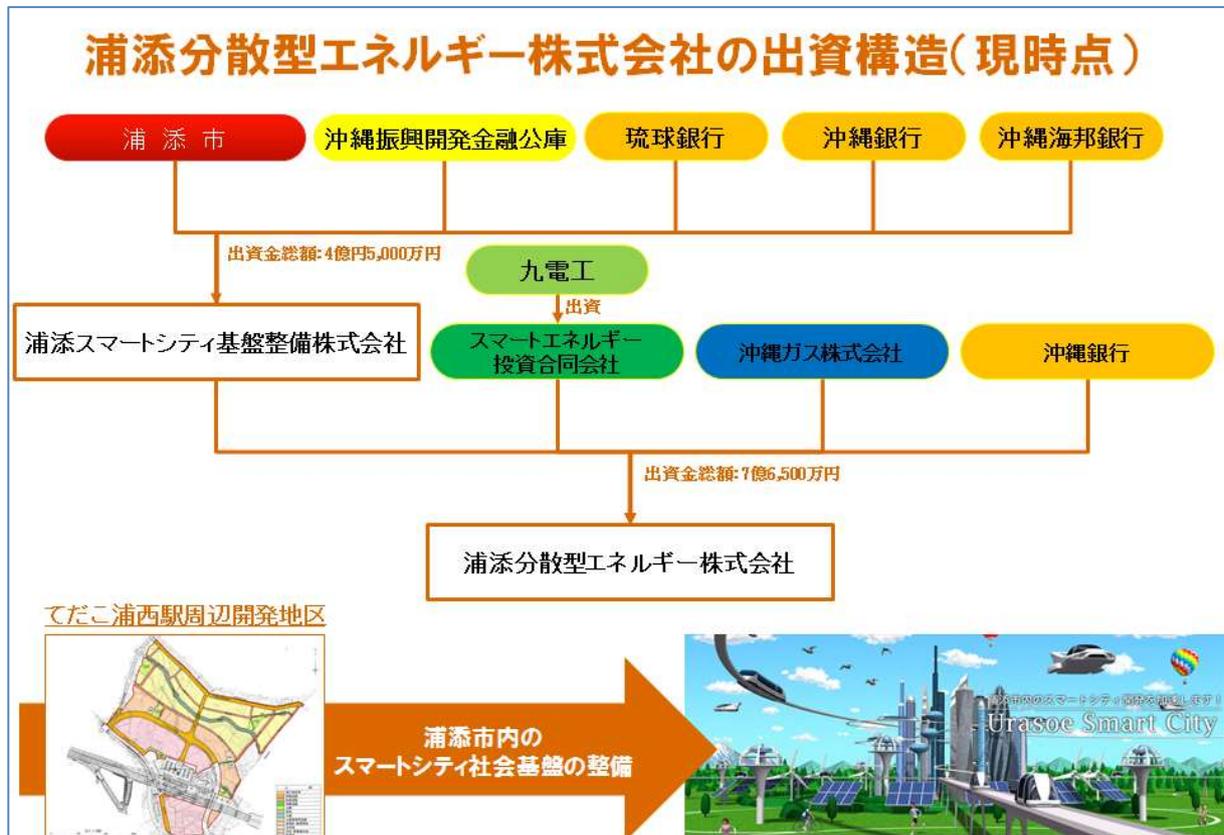
※持続的なまちづくり（スマートシティ）の基盤整備の企画・投資に特化し、同社の傘下に民間事業者と共同出資の下、複数のスマートシティ基盤整備事業を展開するモデルは、イギリスにおける自治体主導のタウンマネジメント企画投資会社の事例が類似しており、同社のように自治体主導による地域へのエネルギー供給のモデルは、ドイツにおける自治体主導の地域エネルギーマネジメント会社（シュタットベルケ）の事例などが類似しています。

### 【会社概要】

1. 商号：浦添分散型エネルギー株式会社
2. 設立日：平成28年12月20日
3. 資本金（現在）：3億8,250万円（資本準備金:3億8,250万円）
4. 出資金出資構成（現在）：

浦添スマートシティ基盤整備株式会社	3億9千万円
スマートエネルギー投資合同会社	2億5千万円
沖縄ガス株式会社	1億円
株式会社沖縄銀行	2,500万円
5. 代表者：代表取締役社長 神山 正
6. 取締役：技術管掌取締役 高本 秀人  
管理管掌取締役 又吉 司
7. 監査役：井上 和則

### <参考図1>



<参考図2>

本社エネルギーセンター完成予想図（1）



本社エネルギーセンター完成予想図（2）



平成 29 年 2 月 6 日  
浦添分散型エネルギー株式会社

**問い合わせ先**：浦添分散型エネルギー株式会社  
〒901-2122  
沖縄県浦添市勢理客四丁目17番11号  
リウエンリースビル5階  
TEL：098-894-8962